

# 森の幼稚園 (三)

## 五、詩の會

正面のフレーベルの肖像を中心にして、左右の壁にはいろいろの額が大小とりぐのいゝ配合に掛けてあります。いづれも極めて質素な額縁のみであります。揃ひも揃つて名畫ばかり。レイノルドの『無邪氣』、リヒターの『我が巢』などを始めとしてウーデーやラルソンの様な新しい小兒畫家の傑作もあります。中央の橢圓形な大テーブルを圍んで之れもいろいろの形の椅子に心持ちよさそうに倚りかゝつた一人々々が銘々小形の本を持つて居ます。

『今日は吉田さんの番でしたねえ。どうです此の前に讀んだロングフェローなどに比べると、まるつきり調子が違つて居ましょう。全體此のプレー

S  
K  
生

キは一種奇妙な性格の詩人で、一方には美術家としても歴史上に名を存して居る人ですが大體に於て、神秘的な傾向の多い人です。その人がこんな詩を書いて居るのが元來不思議に思はれる位なのです。ですから同じ子供を歌ふと言つても多少風調の變つた處もあります。併し英文學中の子供に關する詩の中で最も大切な實であることは認めなければなりません。

『先生、私は此の詩集の表題が好きです。ロングス、オブ、インノセンス。(無邪氣の歌) 私も此の通りの題で何か詩集をこしらへて見度くなりまして。』

『ハ、ハ、ハ。美山君には氣に入りそうな題だ。どうです。皆で一つなり二つなり詩を書いて、それ

を集めてソングス、オブ、インノセンスを作つたら。面白い詩集が出来ますよ。鳥林さん一つどうです。』

『あら先生。私なんぞに……』

『なあに、毎日子供の言つてることを其のまゝ書きさへすれば、直ぐ立派なソングス、オブ、インノセンスが出来るじやありませんか。』

『そうで御座いますねえ』

『そうです、そうです。可愛らしい大詩人が百五十人も居るんだからねえ。處で吉田さん始めませんか。』

森の幼稚園ではお互の心と頭との修養の爲に出来るだけの力を盡して居ます。その爲に忙しい中で色々の會もあります。此の「詩の會」も其の一つで隔週金曜日の夜に此の室で開くことになつて居ます。そして英文の出来る人が交はるゝ解説をする。英文のよく分らない人も其の解説を聞き

ては感想などを述べる。美山君が特に此の會の主任者として皆の分らないことは教えるといふ風になつて居ます。始めは自分で讀む人は極く少數でしたがどうも人の解説では満足出来ない處から、皆勉強して今は殆んど皆大體の意味位は獨りで分かるようになりました。

先生のお考へでは、子供の侶たるものは始終新鮮な、うるほひのある、美しい心持で居なければならぬ。學問も必要技術も必要だが、それだけでは子供の侶にはなれない。ことによると子供から段々離れこそすれ、子供と同じ調子に和階することは出来ない。すべての子供は生れながらの詩人である。吾々も心に此の詩人的要素がなくては、子供と眞に溶和することは出来ないといふので、それで此の「詩の會」が極く重要な修養の機關になつて居ます。「詩の會」といひますが、必ずしも詩ばかりではない。立派な小説も讀みますし、

また繪畫や音楽の話もする。乾き易い、冷い批評家になり易い私共の心を高尚な藝術の力で補ひ養つてゆこうといふのです。

今夜は丁度春まだ浅い雨の夜で、窓硝子のぼん

## 机邊だより

### 人形遊びの實驗

(グルチンスカ女史)

#### 一、人形は教育上にどんな

價値があるか

子供の人形遊びは、教育上いろいろ利益のあることは、今更ら申上げるまでもないことであります。子供の精神や感情や、その眼や指端などの感覺の發達を助けてゆく點では、圖畫と相比やり

と曇つて居るのも一入靜かな落ついた感じがします。二番目の窓際にアスバラガスの鉢と並べて置いた私の丹精のスノウドロップスの只一輪くつきりと白いのがさつきから目につきます。

倉橋惣三

することが出来ます。たゞ圖畫は主として、觀察力や注意を豊富にするに對して、人形は人を愛し人を重じ、人に注意する感情を養ふことが主なる利益となつて居ます。

又、吾々が兒童を研究する上にも、人形遊びはいろいろ便利な便宜を與へて呉れます。例へば、子供が人形を持ちました時に、どういふ遊び方をするかといふことを注意しますと、人形に對する其の子供の態度なり、心の働き方なりを知ることが出